

## 主体的保育

今年度より東京都では「とうきょうすくわくプログラム」がスタートする予定です。  
すくわくプログラムとは、全ての乳幼児の「のびる・育つ（すくすく）」と「好奇心・探求心（わくわく）」を応援するプログラムであり、乳幼児の豊かな心の育ちをサポートするための主体的・協動的な探求活動の実践を促進するものです。

**★主体的とは？**→ 自分の意志や判断に基づいて行動することを意味します。他者からの指示や強制ではなく、自らの考えや意志で行動する様子を指します。「主体的に取り組む」とは、自分で目標を設定し、自ら進んで行動することを意味しています。これに対し、指示を待って行動するのは「受動的」と言います。

子どもが主体的に取り組むというのは一斉保育と違い、個々の興味や関心の有無によって活動の向き合い方が変わります。今回の夏祭りで提供したバスボム作りでも、材料を混ぜ合わせる工程に興味を持つ子もいれば、みんなのお土産になるからと一生懸命に取り組む子もいます。又は、自分の意志で少しの活動(バスボム作り)を終えると他に興味のある活動に没頭する子もいます。

**★協動的とは？**→ 同じ目的のために、対等の立場で協力して共に働くことを意味します。他者と協力しながら成長し、社会的な変化に対応できる力を養います。協力の仕方と同じことを一緒にやるという事だけではありません。役割を決めて目標達成のために個々の得意な分野を活かして協力することもあります。

7月よりマジョラムクラスは、「スマイルシップスポーツ」が始まりました。このプログラムの名前には、『スポーツ』が入っているので体力面をイメージする方も多いと思いますが、スポーツを通して身体・心・脳を育むスポーツプログラムになっています。身体を動かした後はサークルタイムで気持ちを表現し、お互いに話を聴くことでコミュニケーション能力が身に付きます。コミュニケーションが深まれば、探究活動の中で子どもの会話が膨らみ積極的な意見が出るようになることを期待しています。

子ども達が、自分の考えや意志で行動出来るよう、問いかけ、深めていけるような環境を整えながら、引き続きサポートしていきます。

(橋本)

### 【ご理解ください】

探究活動の実施では、子ども達の小さなつぶやきから保育を広げていくことを大切にしています。そのため、活動中の写真を子ども一人ひとり同じ枚数で掲載することに意識を向けながら保育することは極めて難しく、危険を伴うことになるかもしれません。子ども達のその瞬間の表情を大切に、活動内容の流れを皆さんに伝えていくことに重きを置きます。子ども個人の枚数を合わせるための写真や動画でないことをご了承ください。

